

平成23年度 事務事業評価シート（平成22年度実績分）

事務事業名	水のふるさとフェスティバル		部課コード	2407	予算事業科目		事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	水道局	部局長名(2次評価者)	橋詰 辰男	個別事務		-	1		
	担当部署	企画課	所属長名(1次評価者)	岡田 稔			-			
	電話番号	088-821-9230	E-mail	kc-240700@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成23年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	水道事業会計	大綱	01 共生の環	政策基本方針	自然と人の共生に向けて、豊かな自然環境を守り、将来へと引き継いでいくためには、市民がさまざまな機会を通じて自然を理解し、環境について学習していくことが大切です。特に、次代を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要な意義を有しています。市民が自然のしくみを知り、理解を深めていくことができるように、森・里・海をつなぐ環境軸である清流・鏡川を中心として、子どもから高齢者まであらゆる世代に対する環境学習や自然体験の機会創出に取り組んでいきます。また、野生の鳥獣や昆虫、水生生物、植物などの生態系の保全を図ります。					
款	01 水道事業費用	政策	01 自然の理解と共生の環境づくり							
項	01 営業費用	施策	01 環境学習の推進							
目	01 総係費	区分	環境問題の広報啓発							
法定受託事務										
法律・政令・省令										
県条例・規則・要綱等										
市条例・規則・要綱等										
その他(計画、覚書等)	高知市水道事業基本計画2007(基本施策:1-1水源環境の保全)									

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市の上水道水源地域住民及び高知市民		
意図	どのような状態にしていくのか	高知市の上水道の水がどこから来ているかを理解してもらい、その水質を水源地域の方々が守っていることに感謝する気持ちを持ってもらう。		
手段	事業実施体制等	企画課で全体計画を作成し、各課で体制を組み実施する。	事業開始年度	平成9年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道週間行事「水のふるさとフェスティバル」の実施</li> <li>H22年度イベント内容(H22.6.6.10:00-16:00高知市中央公園で実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域物産店(土佐町、仁淀川町、高知市鏡・土佐山地区)</li> <li>・水道局各課・高知市管工事設備業協同組合ブース(業務内容展示等)</li> <li>・バスによる施設見学(水源(鏡ダム)、非常用貯水槽見学)</li> <li>・郷土芸能(仁淀川町玄香太鼓)</li> <li>・コンサート(堀内佳、エルスール)</li> </ul> </li> </ul>		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	イベント来場者数	水道週間行事に多数の方に来場していただく	
	B	イベント参加者満足度	イベント参加者に実施したアンケートで満足度を図る	
	C			

4 事業の実績等

		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	備考欄		
成果指標	A	イベント来場者数	目標 2,000人 実績 約2,000人	2,000人 約2,000人	2,000人 約2,000人	2,000人 約1,000人	H23年度は雨天のため来場者数が減少した。	
	B	アンケート結果	目標 100% 実績 -	100% 98%	100% 95%	100% 94%	イベント満足度アンケート(スタンブラリー参加者の回答)	
	C		目標 実績					
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,489	1,523	1,465	1,390		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	1,489	1,523	1,465	1,390	
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,875	1,850	1,800	1,800		
		正規職員 (千円)	1,875	1,850	1,800	1,800		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.25	0.25	0.25	0.25		
		正規職員 (人)	0.25	0.25	0.25	0.25		
その他 (人)								
総コスト=①+② (千円)	3,364	3,373	3,265	3,190				
市民1人当たりコスト (円)	10	10	10		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	340,695	339,714	339,130					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

●イベントでは水源上流域町村の物産店が出店し、高知市民に水源上流域町村の製品のPRに役立っている。  
 ●水源上流域町村の物産店の出店依頼等の打合せは、水源上流域町村の担当者と直接面会し、情報交換を行う貴重な機会となっている。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 1 日）

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつか、又は、事業の根拠等に結びつか	A (5) 結びつく	B (3) 一部結びつく	A	4.0	本事業は、上水道の水がどこから来ているかを理解してもらい、その水質を水源地域の方々が守っていることに感謝する気持ちを持ってもらうことを目的としており、本市総合計画に掲げる「環境と共生する安全で快適な都市」の趣旨に合致している。  水道週間（毎年6月1日～7日）に高知県内で水道週間のイベントは本イベントのみであり、県下的にも水道事業をPRする貴重なイベントとなっている。また、水道水質等に対する市民の関心は高く、水道の水源流域の環境情報に関するニーズは一定高い。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B (3) 横ばいである			
	C (1) あまり結びつかない	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) 結びつかない	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B (3) 概ね達成している	A	3.0	イベント来場者数は横ばいであるが、イベントの規模から考えると、来場者数は妥当なものと考えられる。また、イベントで毎年実施しているクイズラリーの参加者を対象に実施しているアンケート結果でも、イベントの満足度は高いと考えられる。  現在イベントの展示内容は課単位となっているが、H23年1月に料金課業務が㈱ジェネッツに全面外部委託されたこと、H26年度に下水道が統合予定であることなどから、実施体制については検討の余地がある。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B (3) 概ね妥当である			
	C (1) 検討の余地がある	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 見直しが必要である	D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B (3) 行政主体が望ましい	B	3.0	イベントの準備や進行をイベント業者に委託することは可能であるが、会場できちんと水道事業を説明するためには、水道局職員による説明が必須であり、アウトソーシングによるコスト削減は望めない。  本イベントの類似事業はなく、連携等の可能性は低い。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B (3) 概ね効率的にできている			
	C (1) 検討の余地がある	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 十分可能である	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B (3) 概ね保たれている	B	3.0	イベントの実施については、市のホームページ、水道局の広報紙「広報すいどう」等で広く市民に公開されており公平性は保たれている。  本イベントは、当市水道事業の身の丈に見合った規模で概ね効率的に実施できていると考えている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B (3) 概ね適正な負担割合である			
	C (1) 検討の余地がある	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 検討すべきである	D (0) 検討すべきである				
総合点	13.0	A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）				
		○ B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）				
		C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）				
		D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）				

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 16 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	●一次評価のとおり
○ B 経費削減に努め事業継続	●平成23年1月に「料金お客さまセンター」を開設し、検針業務や窓口業務全般を㈱ジェネッツに委託したことから、水道局の新たな顔となった㈱ジェネッツも参加できる内容にイベントを見直す余地がある。
C 事業縮小・再構築の検討	●平成26年の下水道事業統合（予定）後の下水道事業のPRについて、下水道週間（下水道の日（9月10日）を含む一週間）に新たなイベントを開催するか、水道週間行事である本イベントで下水道事業も含めPRしていくかの方向性も検討する必要がある。
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

(12月市議会定例会建設常任委員会 平成23年12月22日)  
 ・来場者目標の人数を増やしてほしい。  
 委託業者も参加できる内容に見直す場合は委託契約に波及しない（委託金額が増額にならない）ように。